



no.178

2022年(令和4年)
7月20日発行

樹木のふしぎ／ヤマボウシ
みどり探訪／善福寺
緑の歳時記／イヌハウズキ
特集／みどりの支援隊
みどりの窓／新しい公園
園芸ワンポイント／アジサイ

樹木のふしぎ

ヤマボウシ (山法師)

本州以南の山野に自生するミズキ科ミズキ属の落葉高木。高さは5～10mで、初夏、木全体に白い「花」を咲かせ、広げた枝ぶり、緑の葉の上に浮かぶ花々の白さが豪華です。区内では善福寺公園などで見られます。

◆白いのは花ではない

この白いのは花ではなく葉が変化した苞です。「花びら」に見えた4枚の苞片は、品のある白色で端正な並び方をしています。本当の花はこの苞片の真ん中にある球形のもので、小さな淡黄色の花びらがつきますが、まったく目立ちません。

◆実は食べられます

9、10月に、3cmほどのイチゴに似た丸い実になります。熟すと真っ赤になります。朱色の果肉は、酸味はないが甘みがあります。ジャムや果実酒にはよさそうです。

◆なまえの由来は

比叡山の<山法師>がそのいわれのようにです。真ん中の球形のつぼみを僧侶の頭に見立て、白い苞が頭巾に見えるということです。しかし、木全体が白い頭巾をかぶった山法師に見えるとの説もあります。



みどり探訪

善福寺の春景色

善福寺公園上の池北側の道を青梅街道に向かい、300メートルほど歩くと、大きな桜の木が立ち並んだ福寿山善福寺という曹洞宗の寺院があります。



もとは無量山福寿庵という小庵。「新編武蔵風土記稿」に「古く池畔に『善福寺』あり、いつしか廢寺となった」とあります。残された机に『無量山善福寺福寿庵』と記され、関係は不明ながら名が引き継がれていると思われます。(杉並区教育委員会掲示より)



山門の両側に大きく育った樹齢70年を超えるソメイヨシノ



カラコ(唐子)咲きといわれて、花の中央に花弁が幾重にも重なり合って咲く大変華やかなツバキ



裏手の墓地の奥にあるレモンの木



山門を通り越し、広場を回りこむと、珍しいシダレのアカシデ



かすかな甘い匂いがするニッケイ



善福寺(善福寺4-3-6)
交通:荻窪駅北口からバスで、北裏行きまたは武蔵園駅行きに乗り、「善福寺」下車徒歩3分

緑の歳時記

Kさんのちょっと好奇心

イヌハウズキ (犬酸漿)

ナス科の1年草

道 ばたや荒地・畑のふちに見ることができます。

茎には低い稜(かど)があって少し角ばります。葉は互生し広卵形で無毛です。花は白く直径6~7ミリで5つに切れ込み、開くとクルリと反り返ります。果実は7~10ミリの球形で黒く熟す有毒植物です。果たして1つの実の中に種はいくつ入っているのでしょうか。

※北アメリカ原産のアメリカイヌハウズキに似ていますが、こちらは葉が細く細毛が密生、花は反り返らない、実は小さく光沢があることで見分けられます。

参考:山と溪谷社 ポケット図鑑3「秋の花」

日本帰化植物写真図鑑

※Kさんとは本誌編集ボランティアです。



調べてみると...

1個の実の中に2mm位の種が1.6~4.5個入っていた

みどりの支援隊の結成

屋敷林や農地のみどりを保全するため、保全制度の活用・拡充、国等へ税制度改正の要請をしていますが、他にも課題は山積みです。

その1つに、所有者の高齢化や後継者不足によって、今までのようなきめ細やかな維持管理が続けられない状況が挙げられます。

このような人手不足の課題を解決するため、荻窪一丁目・成田西三丁目地区内において、屋敷林や農地の保全を支援するボランティア団体「みどりの支援隊 西田グループ」を平成28年5月に結成しました。

みどりの支援隊の活動

屋敷林や農地を主なフィールドとして、落ち葉掃き等を所有者の方と相談しながら行うとともに、地域の方に屋敷林や農地などのみどりの効果をPRするイベントの企画や運営をしています。

前年度は、屋敷林公開イベント、落ち葉掃き、たき火体験、サツマイモの植付け・収穫、花壇管理等を行いました。



みどりの支援隊に入りませんか!?

一緒に活動していただける方を随時募集しています！
少しでも興味がありましたら、お問い合わせください。

- ※ 荻窪一丁目・成田西地区内の「みどりの支援隊 西田グループ」のみ募集しています。
- ※ まず、「みどりのボランティア杉並」に登録していただきます。みどりのボランティア杉並の登録期間中は区でボランティア保険に加入します。みどりのボランティア卒業後は、各自でボランティア保険に加入していただきます。



お問い合わせ

〒166-8570
杉並区阿佐谷南1-15-1

杉並区役所みどり公園課みどりの計画係
TEL:03-3312-2111(内線3593)



特集 みどりの支援隊 屋敷林や農地を保全する

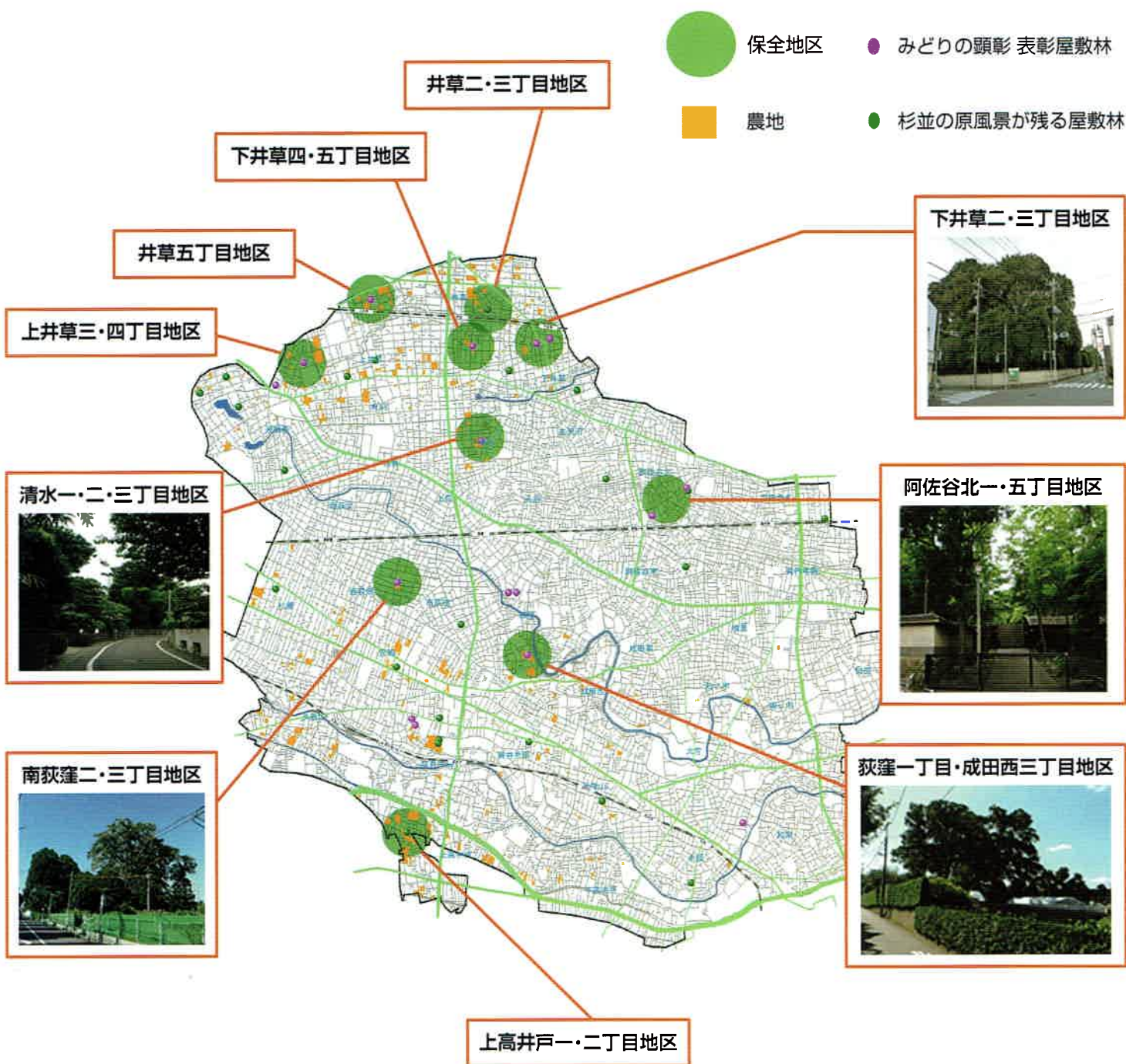
杉並区緑地保全方針の策定

杉並区では、屋敷林や農地を原風景の核としてとらえ、民有地のみどりを守る取り組みを進めています。

しかし、屋敷林や農地は年々減少しており、約30年間で半減しました。

公園を整備することでみどりの創出を図っていますが、みどりの減少に歯止めがかかっていないのが現状です。

このような中、平成 26 年9月に「杉並区緑地保全方針」を定めて、重点的に屋敷林や農地を保全する緑地保全地区を10カ所選定しました。



新しい公園を紹介します

阿佐谷けやき公園

住所：阿佐谷北1丁目1番1号

面積：2891㎡



地上部



屋上からJR線路を見おろす

地域区民センター等複合施設の建設に伴い、リニューアルオープンしました。

地上部は、既存のけやきを残してみどりの効用を享受したレクリエーション活動・地域交流の場となっています。屋上部はゆったりとした空間の中、電車の往来や東京スカイツリーを眺めることができます。

松庵梅林公園

住所：松庵2丁目23番1号

面積：3183㎡



もともと梅の木が植えられた生産緑地で、所有者の方からの土地の買取り申し出によって区が取得することができ、公園として整備しました。

地域の方々から、「災害備蓄倉庫」や「災害時に集まれる広場」など多くのご要望があり、梅の木を残しつつ、多目的に利用できる広場を大きく取った公園となりました。

みどりのイベント2022開催

自然に触れよう！感じよう！

身近にあるみどりに親しみ、みどりと遊び、みどりについて考えるイベント。5月29日に今年も柏の宮公園で開催しました。

子どもも大人もそれぞれ参加できる木や草を利用した工作、ツリークライミングをはじめ、多くの体験型イベントがあり、思い思いに楽しむ様子が見られました。



イベント日和



木の実や枝で



ツリークライミングの様子

みどりの相談所の先生に聞く



みどりに関する相談は 塚山公園 みどりの相談所

☎03-3302-9387

杉並区下高井戸5-23-12
毎週日曜日(第5日曜日を除く)午前9時30分~正午、
午後1時~4時30分



アジサイ

主な栽培種として、ガクアジサイ、ハイドランジア、ヤマアジサイ、アメリカアジサイ、ノリウツギ、カシワバアジサイがあげられます。

同種のハイドランジアとガクアジサイは中国経由で、イギリス王立キュー植物園に運ばれ、以来ヨーロッパで品種改良が進みました。



カシワバアジサイ

花は小さな花が集まり、両性花と、萼片(ガクヘン)の発達した装飾花(中性花)の花房を作っており、複散房花序となっています。一方、ノリウツギとガクアジサイは円錐花序です。咲き方は、中心の両性花が無い、または見えないてまり咲きと、外側にのみ装飾花のある額咲き(額縁咲き)の2種類があります。

1 花色と花型

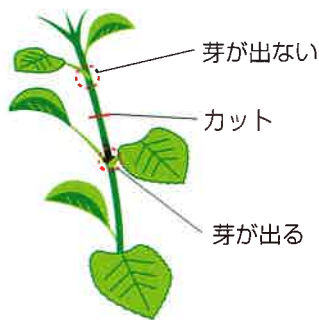
花色は白、ピンク、赤、紫、青と豊富です。カシワバアジサイ、アメリカアジサイ、ノリウツギには青色系はありません。緑、白、緑、と変化します。八重咲きなど品種改良が進み、開花期間も伸びてきています。

2 土壌について

土壌が酸性になると青色、中性近くになると赤色がきれいに咲きます。苦土石灰などで酸度を調整することが出来ます。

3 せん定

せん定は休眠期間に枝を短くしたり、枝の充実を助けたりします。花房に近い節からは芽が出ません。2節の上を切り返し、残りの枝葉に充分、陽が当たるようにします。ガクアジサイ、ヤマアジサイは花が咲き終わったらせん



定するのがベストです。

アメリカアジサイとノリウツギは3月までにどこの位置で切ってもよく、鉢作りは地際で切り、倒れないようにします。

4 病害虫

病害虫はハムシ類、ハマキ虫、ヒメコガネなどが加害します。

ヒメコガネは幼虫、成虫とも加害します。鉢物で突然萎れが出た場合は、根鉢を抜いて見て下さい。

5 増やし方

アジサイは挿し木で増やせます。鉢、用土については、ポリ鉢、プラ鉢の3号~3.5号、赤玉土、鹿沼土の細粒(直径約5mm程度)を用意します。挿し木の穂が少なくという場合は密閉挿しをお勧めします。直射日光の当たらない明るい場所、雨除け下、木洩れ日の当たる、明るい木の下(モミジ樹下等)が重要な条件です。

花をきれいに咲かせるには剪定時期、日照、施肥の三点を守ることが大切です。剪定後は日照を良くし、花芽を育て寒さから保護し、年2回肥料を与えます。

アジサイを増やして楽しんでみてください。

ガクアジサイ、ヤマアジサイ

項目	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生長状態		休眠		生育						休眠			
主な作業		植え付け、植え替え		開花鉢流通		自然開花		花芽分化			植え付け、植え替え		
置き場(鉢植え)		寒風の当たらない軒下など		日なた		日なた~半日陰		日なた		寒風の当たらない軒下など			
水やり(鉢植え)		鉢土の表面が乾いたらたっぷり											
肥料		寒肥		花後の追肥(2年目以降)						寒肥			
病害虫の防除		うどんこ病・薬剤散布											

編集後記 「みどりとひと」はみどりのボランティアと協働で編集しています。

- アジサイや花ショубが見頃です。でも、初夏の花が終わると暑い夏の到来。今年も猛暑かなあ、暑いの本当にいやだなあと今から気の重い日々です。(松)
- 初めて見た、ほのかに香るかわいい花が「カラタネオガタマ」という名と知った喜び(小)
- 昨年11月初め シクラメン半年咲き誇りました。5月まで。今 6月初め 白ベチュニア 40~50の花が満開、素晴らしいです。(水)
- 雨が降る度に芽が伸び自然のありがたさ、偉大さを感じます。(原)
- 街路樹や個人のお宅の庭では今、流行なのが常緑ヤマボウシが多い中、善福寺公園のヤマボウシは気品があり、真に女王様のように美しく咲いていました。(山)
- 久方の 梅雨の合間の 初夏の会に 紫陽花寺の 明月院を想い出す(石)
- 白い花が好きです。生まれ育った東北は初夏、白い花であふれますが、哀愁を感じる白でした。「山法師」もそんな花でした。(佐)



みどりの新聞 みどりとひと178号 令和4年7月20日発行

編集/みどりのボランティア

編集・発行/杉並区都市整備部みどり公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111

「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

